

令和7年度 大田区立石川台中学校 自己評価 報告書

○ 本校の概要

教育目標：・思考力に富む生徒・実行力のある生徒・情操の豊かな生徒を受け、「これからの社会に貢献する人間性豊かでたくましい人」を育てる
 学校規模：生徒数 197人(5月1日現在) 学級数 8学級(通常級1～3年各2学級、特別支援学級1年～3年 2学級)
 特色ある教育活動：小規模のよさを生かした落ち着いた環境での学習 小規模のよさを生かした「自覚ある生徒」を育てる学校行事
 令和2・3年度 大田区教育委員会教育研究推進校「読解力の向上させる指導の工夫」としての研究成果を生かし、各教科において読解力の向上の視点に立った学習指導
 スーパーアクティブスクール校(平成28・29・30年度)として研究成果を生かし、体力向上の視点に立った健康教育
 保護者、地域、学校支援地域本部の協力を得た活動

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄			
								評価人数	コメント		
生予個 き測別 る困目 力難標 をな1 育未 来社 会を 創 造 的 に	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	学校生活アンケートで「石川台中学校の教育活動に満足している」との問いに肯定的に回答した保護者の割合(86%)	4:	・数学の教科書に掲載されている発展的な問題について深く触れている。 ・問題解決型の課題に取り組む際、チームで取り組ませる計画を立て、必ず比較・検討・結論の場面を設けている。 ・単元によるが、スプレッドシートや生成AIを使用する時間を取り入れている。 ・職場体験や防災訓練などの体験を通して自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。 ・各行事の事前・事後学習で活用している。 ・理科の授業で日常と科学とのつながりに気づかせることで視野を広げた。 ・社会科見学事前事後学習(電車乗換、各見学地の調べたデータをまとめる)を通して学ぶことができた。 ・行事の後の振り返りの時間を大切に、時間をしっかりと取って行っている。	A	10	・生成AIを学校で学ぶことは、生徒がそれらのツールを適切に取り扱うことに繋がることから、とても良い取り組みではないかと考える。 ・道徳の授業を見させていただいて、個人ではなかなか発表しづらい時、グループ内での話し合いまとめやルーレットでの指名発言など工夫がみられていたのがよかったです。 ・タブレット操作は生徒の自習的・自発的な取り組みが大切だと感じます。自分が何を分ろうとしているのかが大切だと思います。 ・中学校の三年間は、一市民として自分が何をすべきか考え始める大切な時期だと思います。様々な体験をさせてほしいです。 ・学校公開等で授業を見学した際、グループで意見を出し合い、考する姿をよく目にしました。 ・社会の現場では、良い大学を出たことよりも「行動力」「デジタルツールを使いこなせる」ことが重要となってきました。より一層進めていった方がよいと思います。 ・暗記より問題解決できることや生成AIの活用、自ら考え判断することや日常と科学のつながり等、求められている取り組みができています。 ・職場体験、社会科見学など、校外での学習活動により視野を広める取り組みを評価したい。	
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3:					
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			4					
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			1:					
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4		3:		B	2		
	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	3:									
	2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	4									
	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1:									
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3		2:		C	0		
	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	3:									
	2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	4									
	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1:									
						1:		D	0		
お世個 お界別 た目 をづ 担な 2 うが 人 材 国 を際 育都 成市 し ま す	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	学校生活アンケートで「生徒たちひとりひとりの活動が充実している」との問いに肯定的に回答した保護者の割合(87%)	4:	・日常生活の中で外国の文化および外国語に触れたときはその場で調べ、結果を生徒にシェアするようにしている。 ・外国語教育指導員は生徒と良いコミュニケーションを取り、英語カフェなど能力育成につながる活動になっている。 ・時事問題や環境課題について、朝の学活で取り上げるようにしている。 ・各教科で人権を意識した教育活動を行い、伝統文化や多様性、国際理解などの学習を深められている。	A	11	・外国語教育指導員とコミュニケーションを図ることは、生徒が生きた語学を学ぶ貴重な機会となるため、より一層の活用をお願いしたい。 ・けや祭等の英語のスピーチが素晴らしかったです。 ・英語でのコミュニケーションも必要ですが、どの国の人もコミュニケーションが取れる豊かな国際感覚を養うことが大切だと思います。 ・英語の授業では文法的学習だけでなく、会話を多く取り入れていました。コミュニケーション能力が向上していくと思います。 ・英語が身近に感じられるような先生方の工夫がある。これからも継続してほしい。 ・ALTの活用が効果的と考える。単に語学だけでなく、異文化への理解から多様な価値感を受け止めることができる人間力の向上にもつながっているのではないかと。 ・異なる人種文化、伝統を排除することなく違いを理解し、幅広く物事をとらえる力を引き続き育ててほしいと思います。	
						3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。					3:
						2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。					4
						1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。					1:
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3		2:		B	1		
	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	3:									
	2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	4									
	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1:									
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3		2:		C	0		
	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	3:									
	2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	4									
	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1:									
						1:		D	0		
た一個 め人 別の 目 基と 標 礎り 3 が な個 る性 力と を能 育力 成を し発 揮す る	児童・生徒が豊かな人生を生きていく上で基礎となる心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通じて継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	学校生活アンケートで「自分の健康や体力向上について自分なりに考えて行動している」との問いに肯定的に回答した生徒の割合(91%)	4:	・マイノリティな意見を必ず取り上げ、その背景について言及するようにしている。 ・読解力向上を図るための各教科での取組を継続している。タブレットを活用した意見共有や話し合い活動ができています。生徒の読解力向上にもつなげることができた。 ・給食時の放送で献立や行事食等に関する話を紹介し、食文化や味覚・材料・調味料について関心をもたせている。 ・既習事項を意識し、機会があれば必ず振り返りに触れるようにしている。 ・数学の授業前にドリルパークを活用して復習に取り組んでいる。 ・今年度の体育的行事は天候に恵まれず、延期の末規模を縮小しての開催になった。来年度は校舎改築のため開催方法の見直しが必要である。 ・小中一貫教育の視点に立った教育を行い、関係小学校とコミュニケーションを図って情報共有している。	A	11	・記載のとおり、学校改築が始まり、体育をはじめ、各種行事などの開催方法に工夫が必要と推察されるが、そのような環境下でも生徒が精いっぱい活動できるよう引き続きの支援をお願いしたい。 ・道徳の授業をみせてもらいました。A組「卒業生の話の聞く会」はとても素晴らしい会であり内容も凄く良かったです。今後も続けてください。 ・毎日の給食で、栄養士の先生の心のこもった温かい食育指導が印象的でした。 ・今後も自己肯定感を育める心身の育成に期待する。 ・知・徳・体についての総合的な向上が見込める取り組みであると感じた。 ・食育は重要である。 ・個々の生徒たちの潜在能力を見出し、伸ばすための様々な取り組みは高く評価したい。	
						3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。					3:
						2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。					4
						1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。					1:
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3		2:		B	1		
	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	3:									
	2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	4									
	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1:									
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3		2:		C	0		
	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	3:									
	2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	4									
	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1:									
						1:		D	0		

